

第6回新嵐山スカイパーク経営改革

調査特別委員会会議記録

開閉会 日時	令和5年10月31日(火曜)		10時15分 開会
	休憩 10:35-10:41		
	10時44分 閉会		
	休憩時間: 0時6分		会議時間: 0時間23分
会議場所	役場3階委員会室		
出席委員 氏名	委員長 鈴木 健充	委員 立川 美穂	委員 小笠原 等
	副委員長 正村紀美子	委員 渡辺洋一郎	委員 木村 淳彦
	委員 西尾 一則	委員 堀切 忠	委員 伊藤 稔
	委員 中村 和宏	委員 橋本 和仁	委員 菊池 秀明
	委員 早苗 豊	委員 中田智恵子	議長 梶澤 幸治
欠席委員 氏名	委員 常通 直人		
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 竹川 恭史	主査 上田 瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』			
1 開会			
・委員長が開会を告げ、常通議員において監査業務と日程が重なったことによる欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。			
2 議件			
(1) 調査事項			
ア 特別委員会の調査の視点及び審査のポイントについて 資料1			
・正村副委員長: 資料説明。(特別委員会設置要領に規定する「特別委員会設置の目的」、全協で決定した「特別委員会における調査の視点及び審査のポイント(以下「視点」という。))、新たな「視点」等)			
・委員長: 意見・質疑はないか?			
・立川委員: 今後の調査において、支援金が入らなかった場合の影響について改めて確認する必要がある。既に1年間分の委託料が支払われていて、契約不履行のことについて、町がどのように考え、会社経営をどのように分析していたのか確認する必要がある。			
・木村委員: (3)の経営方針とは具体的にどのようなものか?			
・事務局長: 次回の特別委員会での確認事項という位置付けが可能。8月2日の特別委員会の参考資料2(別紙1)が町の経営方針となる。			
・早苗委員: 議会としての目的はどこをゼロベースとして考えるのか? 違う運営手			

法を模索するのか？

- ・正村副委員長：町が示している宿舎、スキー場、キャンプ場、公園について、指定管理者も含めゼロベースでの検討を行うことについて、今後調査していく。
- ・早苗委員：倒産したためむろ新嵐山(株)については、総務経済常任委員会で調査すべきと思うが。
- ・立川委員：発言の趣旨は？
- ・早苗委員：めむろ新嵐山(株)は町が100%出資。混在しないよう会社の調査は所管委員会ですべきでは？
- ・委員長：次回11月7日に予定している特別委員会において、今までの経過や疑問点について質疑できる。特別委員会で令和5年度及び令和6年度の運営について調査を行う。
- ・委員長：他に意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：提案のとおり決定することに異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：異議なしと認め決定し、次回、特別委員会からの共通認識として調査に臨む。以上で、本日の調査を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：11月7日(火曜)9時30分から
- ・(異議なし)
- ・委員長：決定する。

(2) その他

- ・委員長：委員各位から「その他」でないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	議員	0名	合計	2名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年10月31日

新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会

委員長 鈴木健充